

突然の車椅子生活を余儀なくされたお母様のため、限られた期間とコストで必要最小限の改修に取り組んだ事例である。諸々の手続きに加え、水回りを使用しながらの工事にはさぞ苦勞があったと思われるが、住み手のニーズに寄り添ったリフォームが実現している。

リフォーム前後の写真



打ち合わせから完了(退院)までを表した行程表。町役場にも事情を話し、申請、現地調査、認可を最優先にして頂いたおかげで早期着工ができた。また、大工を始め、各職種、職人も土日関係なく連続工事を快く受けてくれたことも退院に間に合わせる事ができた要因。

①寝室や居間との段差解消には30mmの笠上げが必要。



②しかし平面的に非常に凹凸が多く、複雑な形状。フロアを切り込んでいくと工期も手間も掛かる。

③既存床の健全性を確認した上で加工しやすいPB12mmで捨て張りし、合板12mm+3mmにて嵩上げ。



④3mm厚の車椅子用CFで仕上げ。カッターで切って施工できるので、複雑な凹凸にも対応でき、床の仕上げ工程は1日で完了。9mm合板2枚+フロア12mmでの嵩上げに比べ工期を半分に出た。

⑤廊下は幅員が狭く、介助なしで車椅子で通るのは難しいと判断。しかしお母様の体力回復が予想以上で、自走で廊下を行き来でき、回遊動線化ができたのは担当者も想定外の嬉しい誤算。



⑥お父様も足は良くない。トイレは工事中も使うため、便器の脱着はできない。

⑦廊下と同様に便器の手前で嵩上げる。

⑧CF仕上げ。便器は仕上げより15mmの段差が付くが、車椅子が進入しない箇所のため問題ない。



⑩廊下もトイレの一部となる。工期短縮のため扉はハメ殺しとし、壁の下地とした。

⑪トイレの隣の部屋は建具をそのまま残して工期短縮とコストダウン。

⑫トイレ内に洗面所も構築。建具枠の凹みを利用してニッチと電気温水器を設置。洗顔等もここでできます。

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

【娘様の要望】「実家を車椅子に対応リフォームをしたい」とのご相談が飛び込んで来た。内容は母が転倒して車椅子になってしまったが、父がその事実を受け入れることができず、家の改修に猛反対。先日やっと納得してくれたが、母の退院まで4週間しかない。その期間で(1)計画の立案、(2)打ち合せ、(3)積算・契約、(4)介護保険申請、(5)役所の現場調査、(6)工事まで何とか終わらせて欲しい。**【お父様の要望】**苦勞して建てた家だ。今のイメージを崩さず、畳も残し、工事範囲を抑えて安く仕上げしてほしい。俺も歳で家に金を掛け過ぎるのも不安だし...**【工夫点】** ■既存の床の上に

PB(石膏ボード)を使用して嵩上げ。仕上げは車椅子対応のCFとし、大工工事を最小限に計画することで施工日程を短縮。■トイレも10年前に改修済みで、かつ住みながらのため便器は脱着しないで済む施工方式を採用。■キッチンの床も嵩上げする予定だったが希望工期に終わることが困難。床も痛みもないため出入口に気付かない程のショートスロープを造作し改修範囲を抑える工夫をした。**【娘様の感想】**今の家のイメージも壊さないで済み、父もとても喜んでくれた。また予想外に来客用通路(トイレ〜キッチン)も車椅子で通れたため、母も家の中を回遊できて楽しそうです。

性能向上の特性
バリアフリー。その他:意匠デザインではなく、行程とその工事自体をデザイン(設計)した。

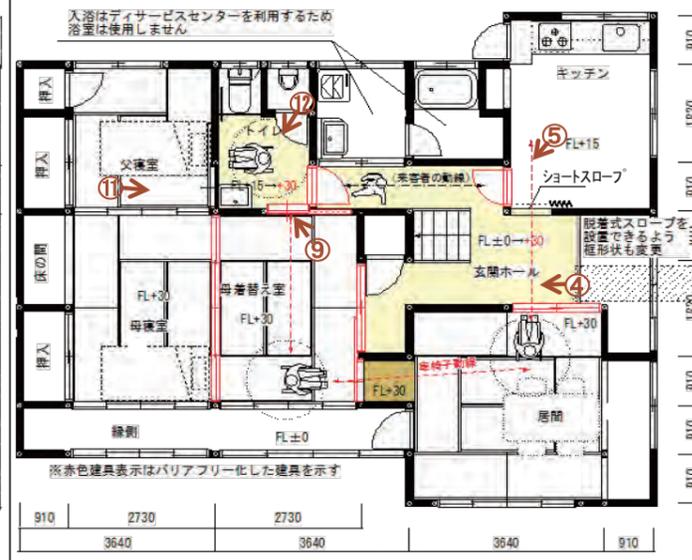
特に配慮した事項
必要な耐久性を確保しながら、徹底した工期短縮と工程管理をし、お母様の退院日までに完了させた。また車椅子の動線を確保しつつ、寝室区画を客人が通らずにトイレが利用できる複数動線の確保にも配慮。

| | | | | | | | |
|---------|-----------------------------------|--------|-------|---------|-------|------|-------|
| 所在地 | 福島県大沼郡会津美里町 | 新築竣工年 | 1965年 | 築後年数 | 53年 | 施工期間 | 10日間 |
| 該当工事床面積 | 16㎡ | 総工事床面積 | 18㎡ | 該当部分工事費 | 120万円 | 総工事費 | 150万円 |
| 居住者構成 | 65歳以上:2人 / 15~64歳:0人 / 15歳未満:0人 / | | | | | | |

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位: □居室/ □台所/ □浴室/ ■便所/ □洗面所/ ■廊下/ □階段/ ■玄関/ □クローゼット/ □タンス/ □共用部分/ ■その他